

センターサイディングの特長

センターサイディングの構造

耐久性、断熱性に優れた三層構造

ニチハのセンターサイディングは、表面材と裏面材に断熱材をサンドイッチ（一体成型）した高性能外壁材です。新築からリフォームまで、用途にあわせてお選びいただけます。

塗装高耐食 GL めっき鋼板は一般的な垂鉛めっき鋼板に比べ約 3 ~ 6 倍の寿命！

フッ素塗装高耐食GLめっき鋼板 [プレミアムSPシリーズ・プレミアムシリーズ]

超高耐候

遮熱性
フッ素鋼板

保証対比
変色・褪色
10年

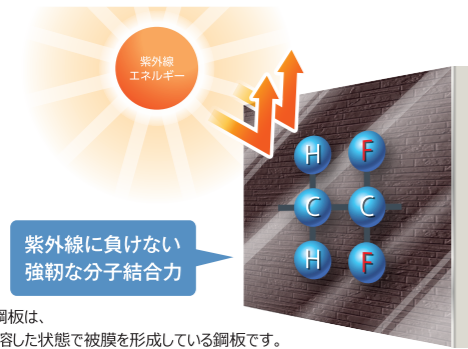
保証対比
塗膜
10年

保証対比
赤錆
10年

保証対比
穴あき
10年

分子結合力が紫外線より強い

「フッ素塗装高耐食 GL めっき鋼板」は、色あせの要因となる紫外線エネルギーを上回る安定した結合エネルギーを持つため、一般的な塗装鋼板より外壁材をしっかりガードすることができます。



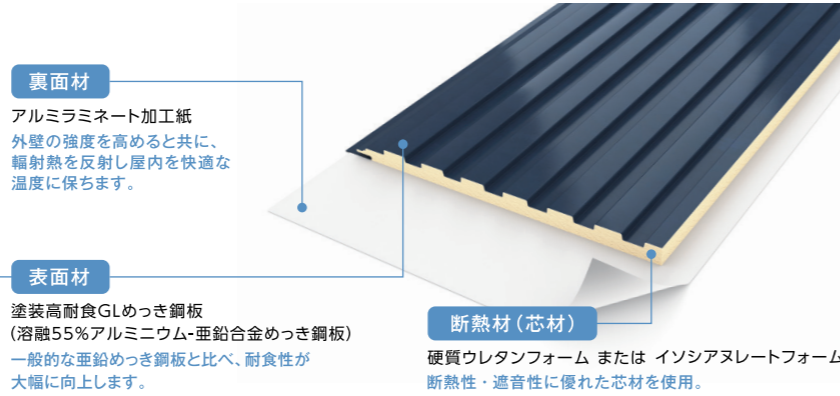
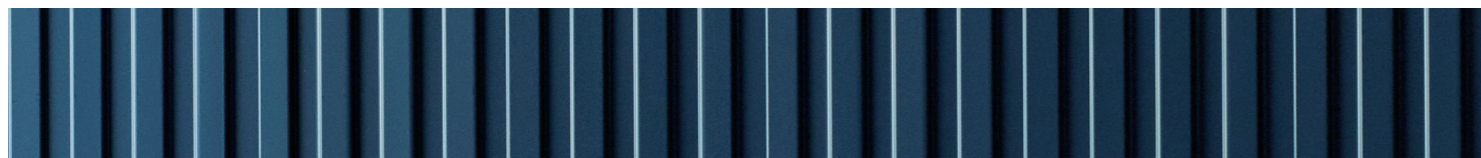
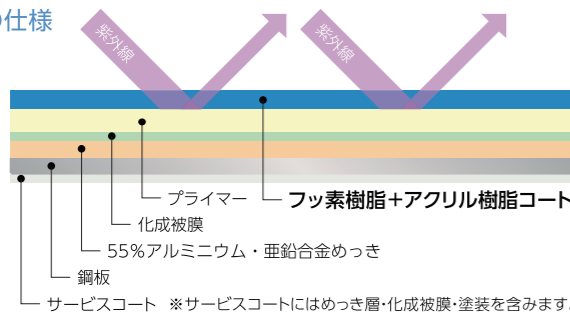
フッ素塗装高耐食 GL めっき鋼板は、フッ素樹脂とアクリル樹脂が相溶した状態で被膜を形成している鋼板です。

抜群の耐久性で、塗膜の変色・褪色 10年保証！！

一般的に約 5~7 年程度で表面の塗膜が劣化し塗り替える必要があるといわれています。

紫外線に強い「フッ素塗装高耐食 GL めっき鋼板」は、10 年間という長期の変色・褪色保証を実現しています。

表面材の仕様



裏面材

アルミラミネート加工紙
外壁の強度を高めると共に、
輻射熱を反射し室内を快適な
温度に保ちます。

表面材

塗装高耐食GLめっき鋼板
(溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板)
一般的な垂鉛めっき鋼板と比べ、耐食性が
大幅に向上します。

断熱材(芯材)

硬質ウレタンフォーム または イソシアヌレートフォーム
断熱性・遮音性に優れた芯材を使用。

色あせに強い 高耐候コーティング [iシリーズ]

高耐候

高耐候
マイクログード

保証対比
変色・褪色
10年

保証対比
塗膜
10年

保証対比
赤錆
10年

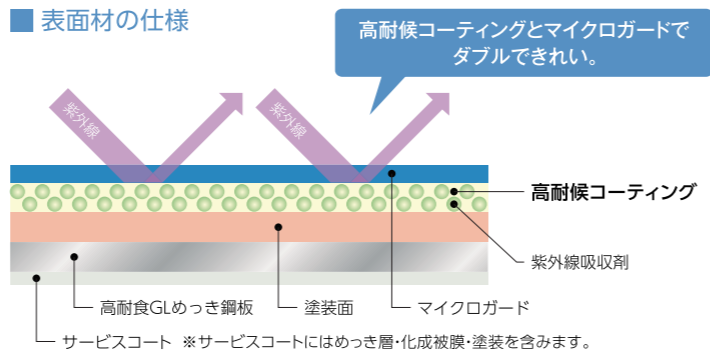
保証対比
穴あき
10年

「iシリーズ」は塗膜の変色・褪色 10年保証！

紫外線に強いニチハの高耐候コーティング品は、期待耐用年数は15~20年。

10年間という長期の変色・褪色保証を実現しています。

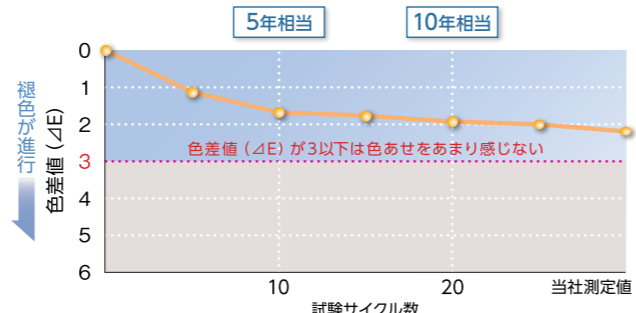
表面材の仕様



促進耐候性試験

ニチハ「高耐候コーティング」は、促進耐候性試験で耐候性に優れた塗膜であることが実証され、

色あせに強く、長時間にわたって外観の美しさを保つことができます。



※保証対象者は住宅会社様です。保証は申請手続きが必要です。

メンテナンスコスト モデルプラン（一例）センターサイディングでの「重ね張り工法」は、「塗り替え」に比べておトクです！

センターサイディングのプレミアムシリーズは、塗り替えや補修が長期間不要で、断熱効果もあるため光熱費の削減にも効果が期待できます。

【モデルケース：新築時から10年経過後の一般的なモルタル外壁（外壁面積 150㎡）で試算。外壁材本体・部材および取り付け工事費です。（付帯工事費含まず）】

リフォーム初期費用	5年	10年	15年	20年	25年	30年	メンテナンス費用 TOTAL 30年相当
モルタル外壁の上に デフィーボーダー プレミアムを 「重ね張り」した場合 初期費用 約150万円					塗り替え※ 約70万円		メンテナンス TOTAL費用 約220万円
既存モルタル外壁に 「塗装」した場合 初期費用 約60万円		塗り替え・外壁補修 約80万円		塗り替え・外壁補修 約80万円			メンテナンス TOTAL費用 約220万円

表面材が「遮熱性フッ素鋼板」だから「塗り替え」や「補修」が長期間不要！メンテナンス費用や光熱費の削減効果が期待できます。

単色塗装で大幅なイメージチェンジは難しく、光熱費の削減効果もありません。

※一般的なフッ素樹脂塗料を使用した場合を想定しています。

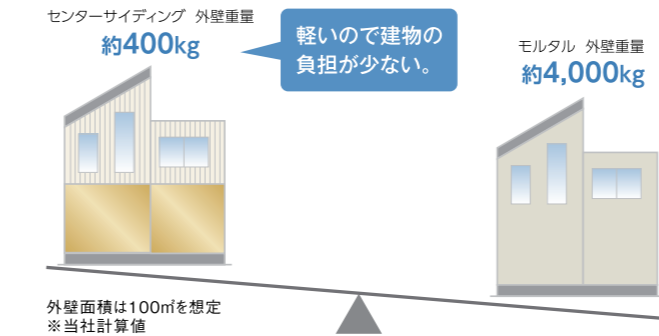
●工事費用・メンテナンス費用は「積算資料ポケット版リフォーム編 2015」を参考に算出した試算金額（税抜）です。

日常点検・部分補修費用およびシーリング打ち替えに必要な仮設足場費用などは含まれておりません。参考値であり、実際のメンテナンス費用については、住宅会社様または工務店様にご相談ください。

耐震性能 住宅の重量を大幅軽減

センターサイディングの重量は、モルタルの約 1/10 です。

住宅構造が同等の場合、地震の影響を受けにくくなり、建物への負担を軽減します。



断熱性能 遮熱性能 断熱材を一体成型

センターサイディングは主要な製品の厚みを 18mm に設定。

芯材の硬質ウレタンフォームやイソシアヌレートフォームの高い断熱性能と、裏面材のアルミラミネート加工紙による輻射熱を反射させる機能が、抜群の断熱性能を発揮し、室内の温度を逃がしにくく、快適な暮らしをサポートします。

●センターサイディングと同等の断熱性能を得るための比較

硬質ウレタンフォームの場合	
センターサイディング※	18mm ≪ モルタルの約 1/54
ALC	110mm
モルタル	968mm

イソシアヌレートフォームの場合	
センターサイディング※	18mm ≪ モルタルの約 1/75
ALC	153mm
モルタル	1350mm

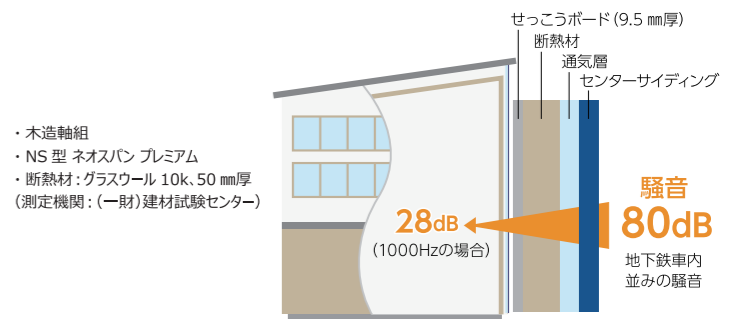
※断熱材単体の熱伝導率から比較しています。

(当社計算値)



遮音性能 厚み 18mm による遮音性

センターサイディングは主要な製品の厚みを 18mm に設定しており、より高い遮音性能を発揮します。また重ね張り工法によるリフォームの場合、壁が二重構造となり、外部からの騒音をさらに軽減します。



・木造軸組
・NS型 ネオスパン プレミアム
・断熱材：グラスウール 10k、50mm厚
(測定機関：(一財)建材試験センター)

耐凍害性能 寒冷地での凍害防止

センターサイディングは表面材に「塗装高耐食 GL めっき鋼板」を使用していることで水分を吸水せず、凍害の心配がありません。

寒冷地でも安心してご使用いただけます。